

附録 C
(規範性附録)
りんご特性表用紙

りんごの特性調査表

出願番号:
出願日:
[審査機関記載欄]

(申請者又は代理機構捺印)

C.1 出願品種仮名称: _____

C.2 植物分類

学 名: _____

中国語名: _____

C.3 品種の種類

次の該当の[]に✓を付す。

C.3.1 交配による育成品種 []

C.3.2 突然変異による育成品種 []

C.4 出願品種の特性を示すカラー写真

{品種写真をここに貼り付けてください}

(写真が多い場合、別紙に貼り付けて添付してください)

その他、出願品種の特性判明に役立つ補足情報

(例えば: 品種の用途、抵抗性などに関する詳細な情報)

C.6 品種栽培又は試験では、特別な条件が必要か?

該当の[]に✓を付す。

はい[] いいえ[]

(“はい”と回答した場合、詳細な情報を提供してください)

C.7 品種の植物体の保存には、特別な条件が必要か?

該当の[]に✓を付す。

はい[] いいえ[]

(“はい”と回答した場合、詳細な情報を提供してください)

C.8 出願品種の形質

表 C.1 の該当の[]に✓を付す。測定値がある場合、表 C.1 に記入してください。

表 C.1 出願品種の特性表

番号	形質	状 態	階級	測定値
1	樹姿（分枝型品種に限る。） （形質 3）	直立 開張 下向 枝垂れ	1 [] 2 [] 3 [] 4 []	
2	*つばみの色（形質 8）	白 黄桃 淡桃 濃桃 赤 濃赤 紫	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 [] 6 [] 7 []	
3	*開花始期（形質 9）	極早 非常早 早 やや早 中 やや晩 晩 非常晩 極晩	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 [] 6 [] 7 [] 8 [] 9 []	
4	*果実：重さ（形質 21）	極軽 非常軽 軽 やや軽 中 やや重 重 非常重 極重	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 [] 6 [] 7 [] 8 [] 9 []	
5	*果実：長さ／幅（形質 24）	極小 非常小 小 やや小 中 やや大 大 非常大 極大	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 [] 6 [] 7 [] 8 [] 9 []	

C.1 続

番号	形質	状 態	階級	測定値
6	*果実：形（形質 26）	くびれのある 円柱形 円錐形 長円錐形 円筒形 楕円形 球形 扁円形	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 [] 6 [] 7 [] 8 []	
7	*果実：果皮を被う色の面積（形質 41）	無又は極小 非常小 小 やや小 中 やや大 大 非常大 極大	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 [] 6 [] 7 [] 8 [] 9 []	
8	*果実：果皮を被う色（形質 42）	橙赤 桃赤 赤 紫紅 赤褐	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 []	
9	*果実：果皮を被う色の型（形質 44）	全面着色 しま模様着色 しま模様を伴った全面着色 斑点状着色	1 [] 2 [] 3 [] 4 []	
10	*収穫期（形質 56）	極早 非常早 早 やや早 中 やや晩 晩 非常晩 極晩	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 [] 6 [] 7 [] 8 [] 9 []	

中華人民共和国農業標準

NY/T 2559-2014

植物新品種区別性、均一性、安定性 に関する審査基準 レタス

Guidelines for the conduct of tests for distinctness, uniformity and
stability-

Lettuce

(*Lactuca sativa* L.)

(UPOV: TG/13/10, Guidelines for the conduct of tests for distinctness,
uniformity and stability-Lettuce, NEQ)

2014-03-24 発表

2014-06-01 実施

中華人民共和国農業部より

目 次

序文

- 1 対象
 - 2 規範性の引用文献
 - 3 専門用語及び定義
 - 4 符号
 - 5 種苗料に関する要求
 - 6 測定方法
 - 7 区別性、均一性、安定性の結果に関する判定
 - 8 特性表
 - 9 グループ分けの形質
 - 10 特性調査表
- 附録 A（規範性附録）レタス形質一覧表
- 附録 B（資料性附録）レタス形質一覧表の解釈
- 附録 C（規範性附録）レタス特性調査表

序 文

本基準は GB/T 1.1-2009 の規則に基づいて起草されたものである。

本基準は改めて起草する方法で、国際植物新品種保護連盟 (UPOV) ガイドライン “TG/13/10 Guidelines for the conduct of tests for distinctness, uniformity and stability-Lettuce” を修正し、採用した。

本基準は UPOV ガイドライン TG/13/10 に対応する。本基準は TG/13/10 との一致性程度は非同等である。

本基準は UPOV ガイドライン TG/13/10 と比較して、技術的な差異が存在する。主な差異は下記のとおりである。

— 基本形質に「植株：肉茎の有無」、「葉身：質地」、「葉球：頂部の形状」、「茎生葉：形状」、「肉茎：形状」、「肉茎：長さ」、「肉茎：粗度」、「肉茎：皮の色」、「肉茎：肉の色」の九つの形質が加えられ、選択測定形質に「茎生葉：葉柄の有無」の一つの形質が加えられた。「抵抗性：うどん粉病」、「抵抗性：レタスモザイク病」の二つの形質が削除された。

— 「子葉：形状」、「葉球：縦断面の形状」、「葉：形状」の三つの形質の表現状態、「子葉：形状」、「子葉：大きさ」、「温室栽培のバターヘッドタイプの品種に限り：葉球：基部しまり程度」、「葉身：凹凸の大きさ」、「葉身：先端辺縁の欠刻密度」、「植株：腋芽の発生能力」、「商品の収穫期」、「植株：高さ」、「植株：扁平化」、「株：扁平化の程度」の九つの形質が調整され選測形質表に含められた。

本基準は農業部科学技術教育司より提出された。

本基準は全国植物新品種テスト標準化技術委員会 (SAC/TC 277) より管理する。

本基準の起草先：上海市農業科学院「農業部植物新品種テスト（上海）センター」、農業省科学技術の発展中心、上海市農業生物遺伝子センター。

本基準の主な起草者：陳海榮、・波、・曉君、堵苑苑、黃志城、李・、王加紅、李寿国、楊華、劉麗娟、・珊、・祝山、陳軍、周佩雯。

植物新品種区別性、均一性、安定性の測定ガイドライン

レタス

1 対象

本基準はレタス種 (*Lactuca sativa* L.) 新品種の区別性、均一性、安定性の測定技術要求と結果判定の一般的な原則を規定した。

本基準はレタスの品種の区別性、均一性、安定性の測定及び結果判定に適用する。

2 規範性の引用文献

下記文献は本文献の応用にとって不可欠なものである。期日を注記した引用文献について、期日を注記したバージョンのみ本文献に適用する。期日を注記しない引用文献について、その最新バージョン（すべての更新履歴を含む）を本文献に適用する。

記

GB/T 19557.1 植物新品種区別性、均一性、安定性の測定ガイドライン 総則

3 専門用語及び定義

GB/T 19557.1 で決めたモノ、及び下記専門用語と定義を本文献に適用する。

3.1 群体測定 single measurement of a group of plants or parts of plants

1 ロットの植物体又は植物体のある器官或は一部に対し、テストを行い、集団として測定記録を獲得する。

3.2 個体測定 measurement of a number of individual plants or parts of plants

1 ロットの植物体又は植物体のある器官又は一部に対し、測定を行い、個々の測定記録を獲得する。

3.3 群体目測 visual assessment by a single observation of a group of plants or parts of plants

1 ロットの植物体又は植物体のある器官又は一部に対し、目測を行い、群体記録を獲得する。

3.4 個体目測 visual assessment by observation of individual plants or parts of plants

1 ロットの植物体又は植物体のある器官又は一部に対し、目測を行い、個体記録を獲得する。

4 符号

下記符号は本文献に適用する。

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個体の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として目測記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個体の目測記録

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

*：標注の形質は UPOV が品種の記述の統一に用いるのに必要な重要な形質。すべての UPOV メンバーはこれらの形質を使用しなければならない。環境条件による制限が原因で形質を測定できない場合を除く。

(a) ～ (d)：標記された内容について、詳しくは B.1 を参照ください。

(+)：標記された内容について、詳しくは B.2 を参照ください。

—：本文献において、アンダーラインは形質を測定する適用範囲を特別に提示するものである。

5 種苗に関する要求

5.1 種苗は種子の形で提供される。

5.2 出願者は少なくとも 30g の成熟した種子を提出すること。

5.3 種苗として提出された種子は健全で、活力に満ち、病害虫に汚染されていないこと。種子の具体的な品質は次のように求められる：純潔率 $\geq$ 98%、発芽率 $\geq$ 80%、含水量 $\geq$ 7%。

5.4 提出する種苗について、通常では、正常な品種形質の表現に影響するほどの処理を行わない。すでに処理された場合、詳しい説明を提供する。

5.5 提出する種苗は中国植物検疫に関する規定に合致しなければならない。

6 測定方法

6.1 測定周期

テスト期間は少なくとも 1 つの生長周期である。

6.2 測定場所

測定は通常では同一の場所で行われる。当地点ではある形質を十分に表すことができない場合、他の条件に符合する場所で調査を行うことができる。

6.3 圃場での試験

6.3.1 試験の設計

出願品種と類似品種を隣接して栽培する。開けた穴に種苗を植え付け、各区画には 20 個以上の植物があり、反復は 2 である。

6.3.2 圃場での管理

当地の通常の生育管理方法で管理する。

6.4 形質調査

6.4.1 調査の時期

表 B.1 及び表 B.2 にリストアップされた生育段階に従って形質調査を行う。生育段階に関する記述は表 B.1 を参照ください。

6.4.2 調査方法

表 A.1 及び表 A.2 に規定された調査方法 (VG、VS、MG、MS) によって、形質調査を行う。一部の形質の調査方法について、B.2 及び B.3 を参照ください。

6.4.3 調査数量

他に特定されない限り、調査された形質 (VS、MS) の個体数は 20 以上であり、

器官または植物の一部を調査する場合、植物体あたりのサンプル数は1でなければならない。集団調査形質（VG、MG）は、すべての小区又はすべての集団を調査すべきである。

6.5 追加測定

必要な場合、表 A.2 の形質または本文献でリストアップされていない形質を選択し、追加測定を行う。

7 区別性、均一性、安定性の結果に関する判定

7.1 全体的な原則

区別性、均一性、安定性の判定は GB/T 19557.1 によって確定された原則で行われる。

7.2 区別性の判定

出願品種は明らかにすべての既存品種と区別されなければならない。測定で、出願品種が少なくとも一つの形質について、類似品種と明らかで、再現できる差異が存在する場合、出願品種が区別性を有すると判定できる。

7.3 均一性の判定

均一性の判定においては、1 %の標準偏差及び 95 %以上の許容率を採用する。サンプルの大きさが 30 株～35 株の場合 1 個の異型株、サンプルの大きさが 36 株～60 株の場合最大 2 株の異型株が許容される。

7.4 安定性の判定

一つの品種が均一性を有するなら、当品種に安定性を有すると判定できる。通常では、安定性について、測定を行わない。

必要な場合、当品種の次のロットの種苗を栽培できる。前に提供した種苗と比べ、形質に明らかな変化がなければ、当品種が安定性を有すると判定できる。

8 特性表

測定の必要によって、形質は基本形質と選択可能形質に分ける。基本形質とは、測定に必ず使用する形質である。基本形質について、表 A.1 を参照ください。選択可能形質について、表 A.2 を参照ください。

8.1 要約

特性表において、形質、分類、状態区分及び対応する階級及び標準品種、調査時期と方法などの内容をリストアップした。

8.2 分類

特性表の記述方法によって、形質は質的形質、擬似の質的形質及び量的形質という三つのタイプに分けている。

8.3 状態区分及びそれに対応する階級

8.3.1 形質の定義と記述の規範のため、各形質は一連の状態に分けている。データの記録、処理、品種記述の作成及び交流のため、各表現状態が相応の階級値を有する。

8.3.2 質的形質と擬似の質的形質について、すべての状態は測定ガイドラインに沿って記述しなければならない: 量的形質について、特性表の長さを縮めるため、偶数の階級の状態をリストアップしなくてもいい。偶数の階級がないときは、次の奇数階級による形で表現できる。

8.4 標準品種

関連する形質のそれぞれの状態を確定するため、環境の原因による差異を是正するため、特性表に、一部の形質の状態について、参考できる標準品種をリストアップした。

9 グループ分けの形質

本文献におけるグループ分けに使用する形質

- a) 種子：色（表 A.1 中の形質 1）
- b) 植株：肉茎の有無（表 A.1 中の形質 6）
- c) 葉身：アントシアニン着色（表 A.1 中の形質 20）
- d) 抽だい始期（表 A.1 中の形質 37）

10 特性調査表

出願人は附録 C のフォーマットでレタス特性調査表を記入する。

附録 A
(規範性附録)

レタス形質一覧表

A.1 レタスの基本形質

見表 A. 1

表 A.1 レタスの基本形質一覧表

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
1	種子の色 QL	VG	白	碧玉レタス	1
			黄	碧チシャ	2
			黒	紫皮香	3
2	幼苗のアントシア ニン着色の有無 QL (+)	VG	無	碧玉レタス	1
			有	紫皮香	9
3	葉：姿勢 10～12 葉期 QN (+)	VG	直立	高華	1
			半直立	碧玉レタス	3
			平坦	紫葉レタス	5
4	葉身の切れ込みの型 PQ (a) (+)	VG	無	碧玉レタス	1
			浅裂		2
			全裂	永定苦苣	3
5	株の幅 QN	VG	極小	碧玉レタス	1
			小	紫皮香	3
			中	掛糸紅	5
			大		7
			極大		9
6	株：肉茎の有無 QL	VG	無	大速生	1
			有	掛糸紅	9
7	株：結球性 PQ (a) (+)	VG	不結球	大速生	1
			半結球	碧玉レタス	2
			結球	結球レタス	3
8	葉身：生地 QL	VG	柔	イタリアレタス	1
			脆		2

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
9	球葉：かぶりの強弱（結球 品種に限る） QN (a) (+)	VG	無或は極弱 弱 中 強 極強	93-1 団葉生 大湖 382	1 2 3 4 5
10	球葉：締め度（結球品種に 限る） QN (a) (+)	VG	緩い 中 固い	大湖 382 結球レタス	1 2 3
11	球葉：大きさ（結球品種に限 る） QN (a)	VG	小 中 大	93-1 団葉生 結球レタス	1 3 5
12	球葉：縦断面の形 （結球品種に限る） PQ (a) (+)	VG	狭楕円形 広楕円形 円形 偏円形	結球レタス	1 2 3
13	球葉：先端の形 PQ (a) (+)	VG	鋭 鈍 平		1 2 3
14	葉身：厚さ QN (a)	VG	薄 中 厚	紫葉レタス 碧玉レタス 翠葉レタス	1 2 3
15	葉：姿勢（商品収穫期） PQ (a) (+)	VG	直立 半直立 平坦	碧玉レタス 紫皮香 結球レタス	1 3 5
16	葉：形 PQ (a) (+)	VG	狭楕円形 楕円形 広楕円形 円形 横広楕円形 横狭楕円形 倒卵形 ひし形 三角形 針の形	結球レタス 紫皮香 無為尖葉レタス	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
17	葉：先端の形 PQ (a) (+)	VG	鋭形	永定苦苣	1
			鈍形	碧玉レタス	2
			円形	紫皮香	3
18	葉：外葉の色相 PQ (a) (+)	VG	無	碧玉レタス	1
			黄味	翠葉レタス	2
			灰味	永定苦苣	3
			赤味	紫皮香	4
19	葉：外葉の色の濃淡 QN (a)	VG	淡		3
			中		5
			濃		7
20	葉身：アントシアニン着色の 有無 QL (a)	VG	無	碧玉レタス	1
			有	紫皮香	9
21	葉身：葉のアントシアニ ン着色の強弱 QN (a)	VG	極弱		1
			弱		3
			中	掛糸紅	5
			強	紫皮香	7
			極強		9
22	葉身：アントシアニンの分布 QL (a)	VG	局在		1
			全体	紫皮香	2
23	葉身：アントシアニン分布の 種類 QL (a)	VG	拡散	紫皮香	1
			斑点		2
			拡散及び斑点		3
24	葉身：光沢の強弱 QN (a)	VG	弱	高華	1
			中	碧玉レタス	2
			強	紫皮香	3
25	葉身：表面の凹凸の強弱 QN (a)	VG	無又は極弱		1
			弱	結球レタス	3
			中	紫皮香	5
			強	円葉レタス	7
			極強		9
26	葉身：周縁の波打ちの強弱 QN (a) (+)	VG	極弱		1
			弱	碧玉レタス	3
			中	紫葉レタス	5
			強		7
			極強	結球レタス	9

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
27	葉身:葉身の先端部の切れ込みの有無 QL (a) (+)	VG	無 有	碧玉レタス	1 9
28	葉身:葉身の先端部の切れ込みの深さ QN (a) (+)	VG	浅 中 深	碧玉レタス 遅莧苣	3 5 7
29	葉身:先端部の切れ込みの型 (葉身先端部の切れ込みが浅い品種に限る。) QL (a) (+)	VG	深波状 齒状	レタス 碧玉レタス	1 2
30	葉身:葉脈の型 QL (a) (+)	VG	非扇状 扇状	碧玉レタス 翠葉レタス	1 2
31	茎生葉の形(肉茎の有る品種に限る) PQ (a) (b) (c) (+)	VG	線形 針の形 楕円形 倒卵形	遅莧苣 掛糸紅 紫皮香	1 2 3 4
32	茎:形 PQ (a) (b) (+)	VG	円筒形 円錐形 紡錘形	遅莧苣 掛糸紅 紫皮香	1 2 3
33	茎:長さ QN (a) (b)	MS/VG	短 中 長	無為尖葉レタス 紫皮香 掛糸紅	3 5 7

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
34	茎：太さ	MS/VG	細 中 太	掛糸紅¥紫皮香	1
	QN				3
	(a)				5
	(b)				
	(+)				
35	茎：色合い	VG	白緑 浅緑 中緑 紫緑 紫赤	無為尖葉レタス 遅莖苣 洋莖苣 掛糸紅	1
	PQ				2
	(a)				3
	(b)				4
	(c)				5
36	茎：肉色	VG	黄白 白緑 浅緑 中緑 深緑	無為尖葉レタス 紫皮香 掛糸紅	1
	PQ				2
	(a)				3
	(b)				4
	(c)				5
37	抽だい始期	VG	極早 早 中 晩 極晩	紫皮香 碧玉レタス レタス	1
	QN				3
	(+)				5
					7
					9

A.2 レタスの選択可能形質

見表 A.2

表 A.2 レタスの選択可能形質表

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
38	子葉：形	VG	楕円形 倒卵形 円形近い さじ状	高華 碧玉レタス 広葉レタス	1
	PQ				2
	(+)				3
39	子葉：大きさ	VG	小 中 大	翠葉レタス 碧玉レタス 紫皮香	1
	QN				2
					3
40	温室栽培のバターヘッドタ イプの品種に限る	VG	弱 中 強	レタス	3
	球葉の締まり度				5
	QN				7
	(a)				

番号	形質	観測時期 と方法	状態	標準品種	階級
41	葉の凹凸の大きさ QN (a)	VG	小	紫皮香	3
			中	高華	5
			大	碧玉レタス	7
42	葉:葉身の先端部の切れ込み の有無 QN (a)	VG	疎	碧玉レタス	3
			中	紫皮香	5
			密	高華	7
			極密		9
43	株:腋芽発生能力 QN (a)	VG	極弱	紫皮香	1
			弱	碧玉レタス	3
			中	胭脂莴苣菜	5
			強		7
			極強		9
44	茎生葉:葉柄有無 QL (a) (b) (c) (+)	VG	有		1
			無		9
45	商品収穫期 QN (a)	MS	極早		1
			早		3
			中		5
			晩		7
			極晩		9
46	株:高さ QN (a)	MS/VG	低	碧玉レタス	3
			中	遅莴苣	5
			高	紫葉レタス	7
47	株:帯化 QL (d) (+)	VG	無		1
			有	莴苣、莴笋	9
48	株:帯化程度 QN (a)	VG	極弱		1
			弱	矮老莴笋	3
			中	莴笋	5
			強		7
			極強		9

附録 B
(資料性附録)

レタス形質一覧表の解釈

B.1 複数の形質に関する解釈

- (a) すべての株、球葉、葉、葉身の観測は商品の収穫期にするべきである。
- (b) 茎用レタス品種に適用する
- (c) 肉茎中間部の 1/3 の所
- (d) 開花期に茎を観測する

B.2 個体の形質に関する解釈

形質分級と図中のコード 見 A. 1

形質 2 *苗：アントシアニン着色、苗の二葉一心から四葉一心までに観測

形質 3 葉：姿勢 10~12 葉期 見図 B. 1

形質 15 葉：姿勢 (商品収穫期) 見図 B. 1

結球品種の外球葉、非結球品種の成熟葉を観測

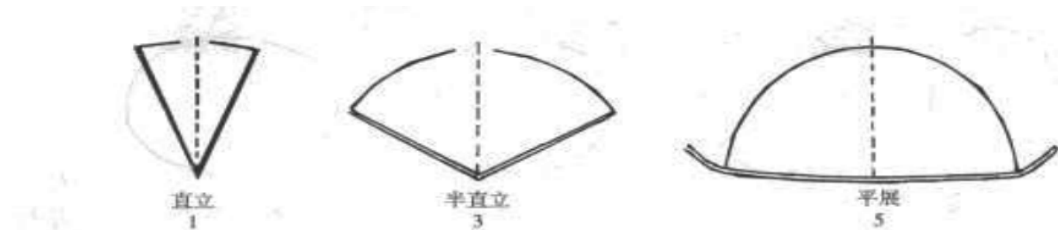


図 B. 1 葉：姿勢 10~12 葉期 葉：姿勢 (商品収穫期)

形質 4 葉身の切れ込みの型 見図 B. 2

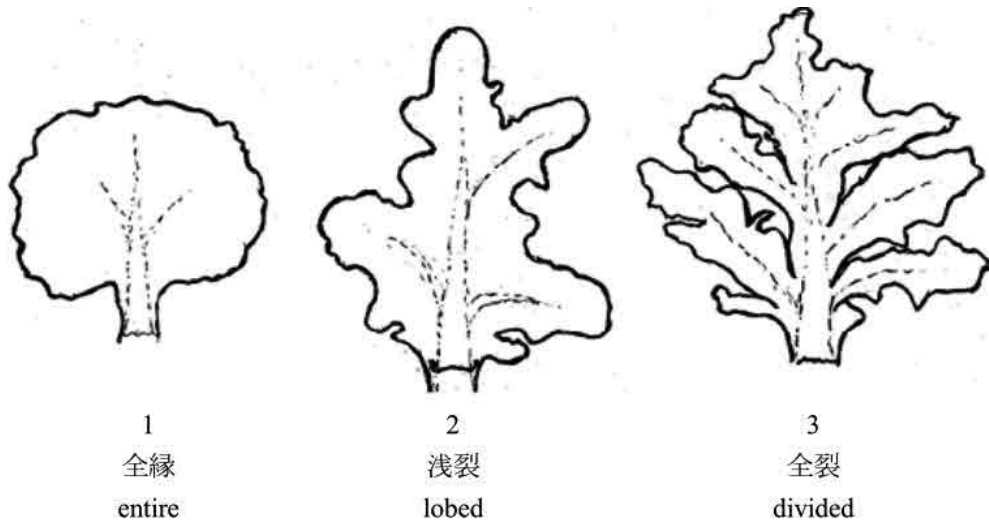


図 B. 2 葉身の切れ込みの型

形質 7 株:結球性 見図 B. 3



図 B. 3 株:結球性

形質 9 球葉のかぶりの強弱（結球品種に限る。） 見図 B. 4

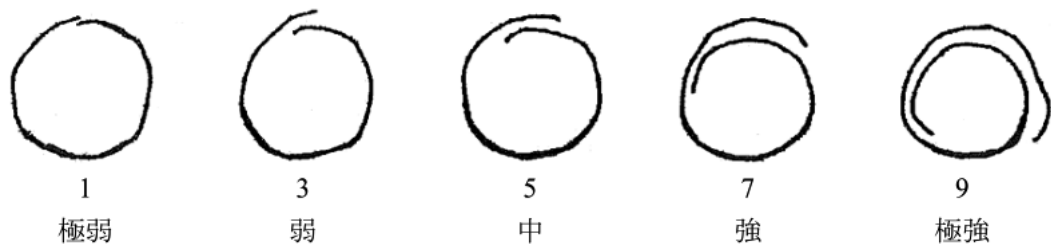


図 B. 4 球葉のかぶりの強弱（結球品種に限る。）

形質 10 球葉の締まり度（結球品種に限る。）球葉の縦断面の隙間の大小の程度を観測する同時に手押し出しの感じを結合する

形質 12 球葉の縦断面の形（結球品種に限る。） 見図 B. 5

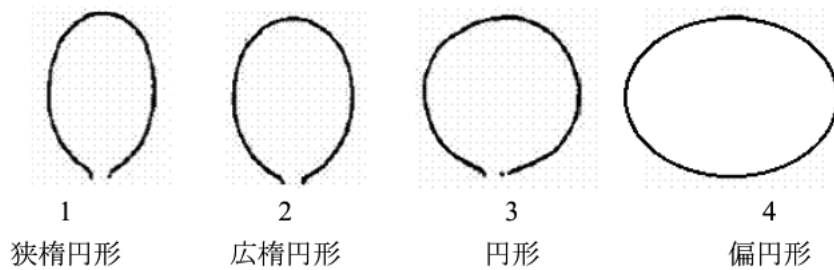


図 B. 5 球葉の縦断面の形（結球品種に限る。）

形質 13 球葉の先端の形 見図 B. 6



図 B. 6 球葉の先端の形

形質 16 葉の形 見図 B.7 結球と半結球品種の内層の最大に成熟した外球葉を観測し、結球しない品種は、中間部の最大葉を観測し、茎用レタス品種は茎中間部の最大成葉を観測する



図 B.7 葉の形

形質 17 葉:先端の形 見図 B.8



図 B.8 葉:先端の形

形質 18 葉:外葉の色合 緑を基調として、外葉に混色があるかどうか観測する

形質 26 葉身: 周縁の波打ちの強弱 見図 B.9



図 B.9 葉身: 周縁の波打ちの強弱

形質 27 葉身：先端部の切れ込みの有無 見図 B. 10



図 B. 10 葉身：先端部の切れ込みの有無

形質 28 葉身：先端部の切れ込みの深さ 見図 B. 11

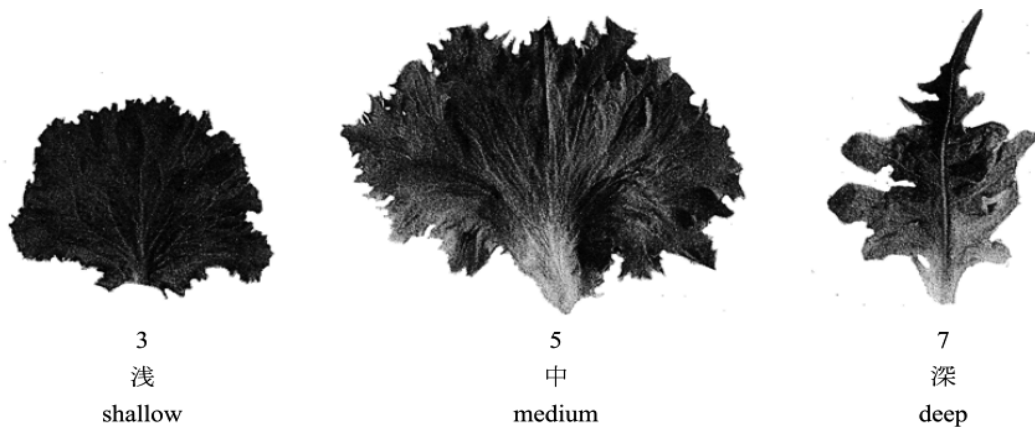


図 B. 11 葉身：先端部の切れ込みの深さ

形質 29 葉身の先端部の切れ込みの型（葉身先端部の切れ込みが浅い品種に限る） 見図 B. 12

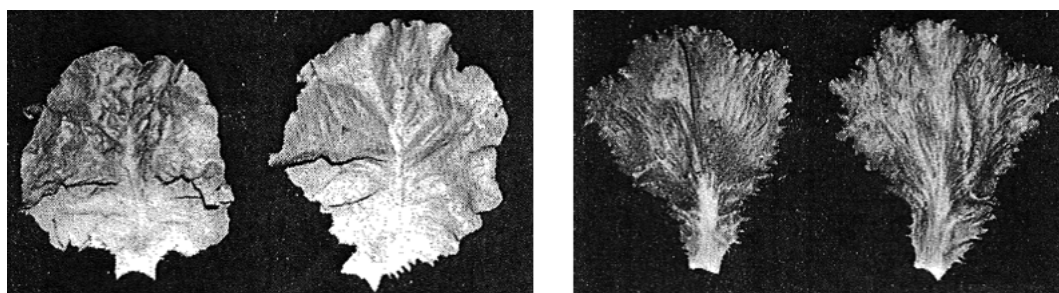


図 B. 12 葉身の先端部の切れ込みの型（葉身先端部の切れ込みが浅い品種に限る）

形質 30 葉身:葉脈 見図 B. 13

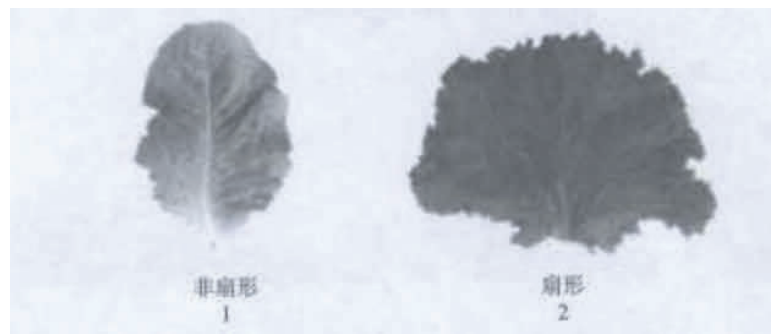


図 B. 13 葉身:葉脈

形質 31 肉茎ある品種に限る 茎生葉:形 見図 B. 14

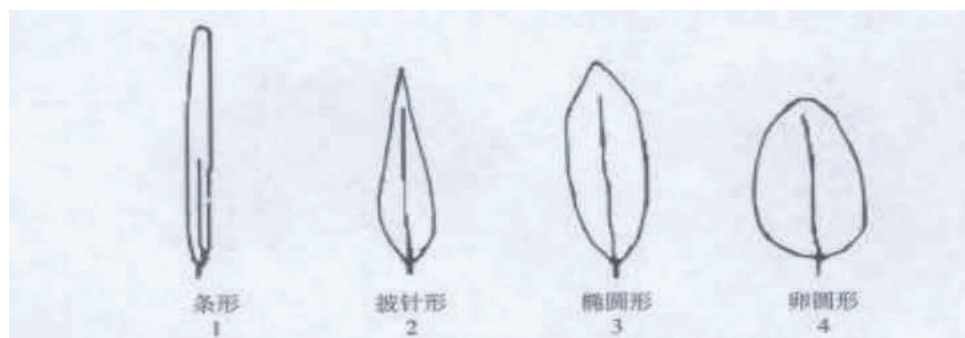


図 B. 14 肉茎ある品種に限る 茎生葉:形

形質 31 肉茎ある品種に限る 茎生葉:形 見図 B. 15



図 B. 15 肉茎ある品種に限る 茎生葉:形

形質 34 肉茎:太さ 肉茎の最大の太さ

形質 37 抽だい始期 長日条件下において 供試株の 10%が抽だいを始めた時期

形質 38 子葉:形 見圖 B. 16



圖 B. 16 子葉:形

形質 44 莖生葉:葉柄有無 見圖 B. 17

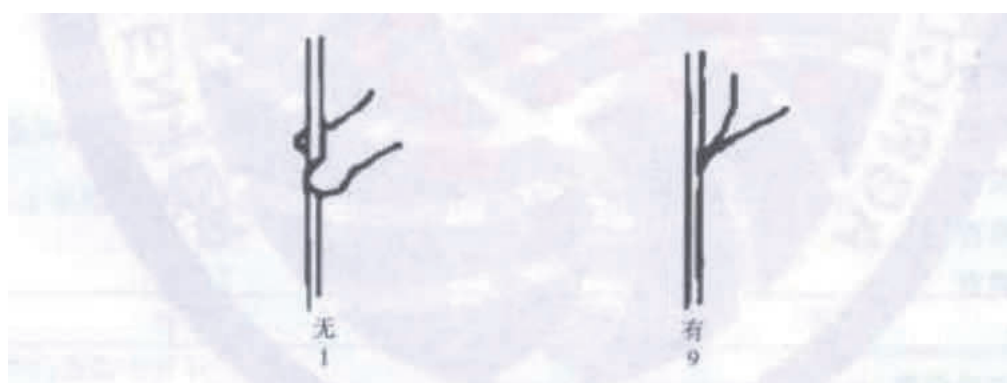


圖 B. 17 莖生葉:葉柄有無

附録 C
(規範性附録)
レタス特性表用紙

レタス特性調査表

出願番号: 出願日: [審査機関記載欄]

(申請者又は代理機構捺印)

C.1 出願品種仮名称: _____

C.2 植物分類

学 名: _____

中国語名: _____

C.3 品種の種類

次の該当の[]に✓を付す。

C.3.1 栽培方式による分類

C.3.1.1 皺葉レタス

C.3.1.2 茎用レタス

C.3.1.3 直立レタス

C.3.1.4 散葉レタス

C.3.1.5 酪球レタス

C.3.1.6 結球レタス

C.3.1.7 其他 ()

C.3.2 食用方法によって分類

鮮食【 】 加工【 】

C.4 出願品種の特性を示すカラー写真

{品種写真をここに貼り付けてください}

(写真が多い場合、別紙に貼り付けて添付してください)

C.5 その他、出願品種の特性判明に役立つ補足情報

(例えば：品種の用途、抵抗性などに関する詳細な情報)

C.6 品種栽培又は試験では、特別な条件が必要か？

該当の[]に✓を付す。

はい[] いいえ[]

(“はい”と回答した場合、詳細な情報を提供してください)

C.7 品種の植物体の保存には、特別な条件が必要か？

該当の[]に✓を付す。

はい[] いいえ[]

(“はい”と回答した場合、詳細な情報を提供してください)

C.8 出願品種の形質

表 C.1 の該当の[]に✓を付す。測定値がある場合、表 C.1 に記入してください。

表 C.1 出願品種の特性表

番号	形質	状 態	階級	測定値
1	種子の色 (形質 1)	白 黄 黒	1 [] 2 [] 3 []	
2	葉身の切れ込みの型(形質 4)	無 浅裂 全裂	1 [] 2 [] 3 []	
3	株：肉茎の有無 (形質 6)	有 無	1 [] 9 []	
4	株：結球性 (形質 7)	不結球 半結球 結球	1 [] 2 [] 3 []	
5	葉身：生地(形質 8)	柔 脆	1 [] 2 []	
6	球葉：大きさ (結球品種に限る) (形質 11)	小 小から中まで 中 中から大まで 大	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 []	

表C 1 続

番号	形質	状 態	階級	測定値
7	球葉:縦断面の形 (結球品種に限る) (形質 12)	狭楕円形 広楕円形 円形 偏円形	1 [] 2 [] 3 [] 4 []	
8	葉身:アントシアニン着色の有無 (形質20)	無 有	1 [] 2 []	
9	肉茎:形 (形質32)	棒状 円錐形 紡錘形	1 [] 2 [] 3 []	
10	肉茎:長さ(形質33)	極短 極短から短まで 短 短から中まで 中 中から長まで 長 長から極長まで 極長	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 [] 6 [] 7 [] 8 [] 9 []	
11	肉茎:厚さ(形質 34)	細 細から中まで 中 中から粗まで 粗	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 []	
12	肉茎:色合い(形質 35)	白緑 浅緑 中等緑 紫緑 紫赤	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 []	
13	肉茎:肉色(形質36)	黄白 白緑 浅緑 中度緑 深緑	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 []	
14	抽だい始期(形質37)	極早 極早から早まで 早 早から中まで 中 中から晩まで 晩 晩から極晩まで 極晩	1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 [] 6 [] 7 [] 8 [] 9 []	